

# ◆研究発表の日◆

## 中央中学校区(東郷小・南郷小・中央中) 小中一貫教育研究発表会開催

平成21・22年度宗像市研究指定・委嘱  
問い合わせ先 教育政策課 ☎(36) 5099

「小中一貫教育研究発表会」が昨年10月29日、中央中学校区の東郷小、南郷小、中央中で開催されました。

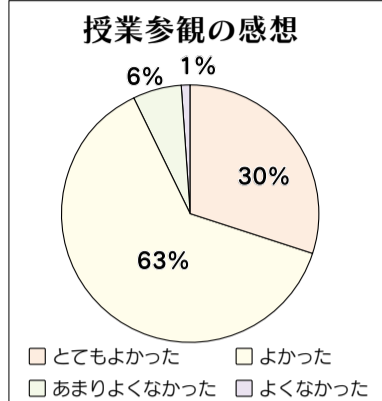
同校区は、市内小中一貫教育の3校区目です。

研究発表会では、市内外から660人の教育関係者、地域保護者らが参加。授業参観や分科会での協議を通して、半日熱い議論が交わされました。



発表会分科会の様子

参加者数	市教職員	市外教職員	保護者地域	計
東郷小学校	167	21	91	279
南郷小学校	107	18	32	157
中央中学校	153	38	33	224
計	427	77	156	660



授業参観の感想  
30% よかった  
63% とてもよかった  
1% よくなかった  
6% あまりよくなかった

授業参観では、同校区小中一貫教育の特徴である「小学校から中学校までの学習の進め方を統一(指導方法の一貫)した授業」や、中学校の先生が小学校で授業を実施する「兼務教員授業」が提

【参加した先生の感想】  
▽「施設分離型」の小中一貫教育の実践的研究がよく分かる研究会でした。9年間を見通したカリキュラムを作成し、「指導方法の一貫化」に力を入れているのが、授業を通してよく分かりました(小学校)

【各分科会の内容紹介】  
●指導内容の重点化、カリキュラム  
中学入学当初の戸惑いや不安を解消するため、指導内容や方法、学習での約束などを2つの小学校でそろ

案されました。参観した9割以上の先生から「良かった」との回答がありました。  
▽課題も苦労もたくさんあると思います。それが発表会でも出されて、市の小中一貫がどの学校でも取り組みやすくなるよう願っています(中学校)

▽3校の先生らが、校区という意識を持って取り組んでいる姿勢が伝わってきました。小・中学校の協力の大切さを再確認しました(小学校)

え、同じ学びを重ねた児童が中学校に進むようにしています。  
さらに、9カ年での学習をつなげていくカリキュラムを開発しました。その結果、粘り強く学習する態度や学習に対する意欲が向上し、学力が向上しました。  
今後は、全教科でのカリキュラム開発を進めていきます。

【兼務教員】  
中央中学校区では、中央中の英語科1人と音楽科2人の先生が、東郷小・南郷小の高学年で週1回、外国語活動と音楽の授業を実施しています。

【組織運営】  
小中一貫教育を進めるには、3校が協力、連携した組織が重要になります。中央中学校区では、校長、教頭、教務主任、研究主任、人権同和教育担当者、生徒指導担当者がそれぞれ小中合同の部会を作り、連携した運営を実施しています。  
また月1回は、このメンバーが集まり、連絡調整を図りながら共通理解を深めています。  
すべての先生が参加する3校合同の研修会も年に3回実施して、指導方法や人権・同和教育の実践などを確認しています。

【地域・保護者との連携】  
学校で進めている小中一貫教育の内容や子どもたちの活動を、地域、保護者らに理解してもらい、その趣旨や成果を共有してもらうことは大切なことです。  
中央中学校区では、学校・地域・保護者がお互いに働きかける連携関係を大切にしていくために、家庭学習定着のチャレンジウィークやあいさつ運動を実施しています。  
パンフレットで啓発を図るとともに、学校だよりで子どもたちの姿を地域、保護者に積極的に知らせています。

【指導方法の一貫化】  
中央中学校区の教育目標は、「目標を持ち、自ら考え、行動し、粘り強くやり通す、心豊かで健康な子どもの育成」に一歩ずつ進んでいます。この目標達成のために3校で指導方法をそろえ、子どもたちの学力を高める授業の実践を進めています。このことで、小学校でも中学校でも、すべての授業が同じように進められ、学習に対する不安が減少しました。  
これからは低・中・高学年、中学校と子どもの成長に応じた指導方法の研究を実施していきます。

【交流活動】  
①小学生が、中学校生活へのあこがれや希望を持ち、目標を持って努力する意欲が高まる②小学校同士の行事で、中学校入学以前に、お互いに顔見知りになり、入学後の中学校生活をスムーズに送ることが出来る③中学生が、小学生との交流活動をリードする中で、社会性を高めたり、思いやりの心を醸成したりすることが出来る。①②③を目的に、交流遠足や校区クリーン活動、キャンパなどの交流活動を実施しています。

【研究発表会を終えて】  
●中央中学校区  
▽東郷小学校長 高宮史郎  
▽南郷小学校長 久家房子  
▽中央中学校長 北岡隆博  
東郷・南郷地区は、古くからの素晴らしい伝統や豊かな文化のある地域です。このような地域に育つ子どもたちの義務教育9年間の学びを、小学校で連続・一貫させ、よりよい教育環境をつくる取り組みをこの2年間進めてきました。  
地域、保護者のみなさんの温かい理解と協力、3校の全職員の創意工夫で、中学校入学時の不安の緩和や学力向上などの手応えを感じているところです。

【今後の推進に向けて】  
市では、「小中一貫教育基本方針」に基づき、小中一貫教育を段階的に市内全小中学校に拡大していく予定です。  
平成23年度には、河東中学校区、自由ヶ丘中学校区が、平成24年度には城山中学校区、玄海中学校区が発表会を開催する予定です。

【研究発表会を終えて】  
●中央中学校区  
▽東郷小学校長 高宮史郎  
▽南郷小学校長 久家房子  
▽中央中学校長 北岡隆博  
東郷・南郷地区は、古くからの素晴らしい伝統や豊かな文化のある地域です。このような地域に育つ子どもたちの義務教育9年間の学びを、小学校で連続・一貫させ、よりよい教育環境をつくる取り組みをこの2年間進めてきました。  
地域、保護者のみなさんの温かい理解と協力、3校の全職員の創意工夫で、中学校入学時の不安の緩和や学力向上などの手応えを感じているところです。

【今後の推進に向けて】  
市では、「小中一貫教育基本方針」に基づき、小中一貫教育を段階的に市内全小中学校に拡大していく予定です。  
平成23年度には、河東中学校区、自由ヶ丘中学校区が、平成24年度には城山中学校区、玄海中学校区が発表会を開催する予定です。

【指導方法の一貫化】  
中央中学校区の教育目標は、「目標を持ち、自ら考え、行動し、粘り強くやり通す、心豊かで健康な子どもの育成」に一歩ずつ進んでいます。この目標達成のために3校で指導方法をそろえ、子どもたちの学力を高める授業の実践を進めています。このことで、小学校でも中学校でも、すべての授業が同じように進められ、学習に対する不安が減少しました。  
これからは低・中・高学年、中学校と子どもの成長に応じた指導方法の研究を実施していきます。

【交流活動】  
①小学生が、中学校生活へのあこがれや希望を持ち、目標を持って努力する意欲が高まる②小学校同士の行事で、中学校入学以前に、お互いに顔見知りになり、入学後の中学校生活をスムーズに送ることが出来る③中学生が、小学生との交流活動をリードする中で、社会性を高めたり、思いやりの心を醸成したりすることが出来る。①②③を目的に、交流遠足や校区クリーン活動、キャンパなどの交流活動を実施しています。

【地域・保護者との連携】  
学校で進めている小中一貫教育の内容や子どもたちの活動を、地域、保護者らに理解してもらい、その趣旨や成果を共有してもらうことは大切なことです。  
中央中学校区では、学校・地域・保護者がお互いに働きかける連携関係を大切にしていくために、家庭学習定着のチャレンジウィークやあいさつ運動を実施しています。  
パンフレットで啓発を図るとともに、学校だよりで子どもたちの姿を地域、保護者に積極的に知らせています。

【研究発表会を終えて】  
●中央中学校区  
▽東郷小学校長 高宮史郎  
▽南郷小学校長 久家房子  
▽中央中学校長 北岡隆博  
東郷・南郷地区は、古くからの素晴らしい伝統や豊かな文化のある地域です。このような地域に育つ子どもたちの義務教育9年間の学びを、小学校で連続・一貫させ、よりよい教育環境をつくる取り組みをこの2年間進めてきました。  
地域、保護者のみなさんの温かい理解と協力、3校の全職員の創意工夫で、中学校入学時の不安の緩和や学力向上などの手応えを感じているところです。

【今後の推進に向けて】  
市では、「小中一貫教育基本方針」に基づき、小中一貫教育を段階的に市内全小中学校に拡大していく予定です。  
平成23年度には、河東中学校区、自由ヶ丘中学校区が、平成24年度には城山中学校区、玄海中学校区が発表会を開催する予定です。

